



2016年8月25日（木曜）～27日（土曜）

クマさん会20周年記念「一合目から登る富士山」③

27日：富士館（3710m）～御殿場・新五合目（1440m）

～Report by 石井（photo by 参加者のみなさん）

最終日は、山頂でご来光を拝んだ後、下山途中で宝永山に立ち寄る。名物？の大砂走を突っ走り（歩き）、御殿場ルートの新五合目へ下山する。そこから、御殿場駅へバスで移動。乙女峠近くの「富士八景の湯」で三日間の山旅の汗と埃を流し、帰途に就く計画だ。標高差2270mを降るコースだ。

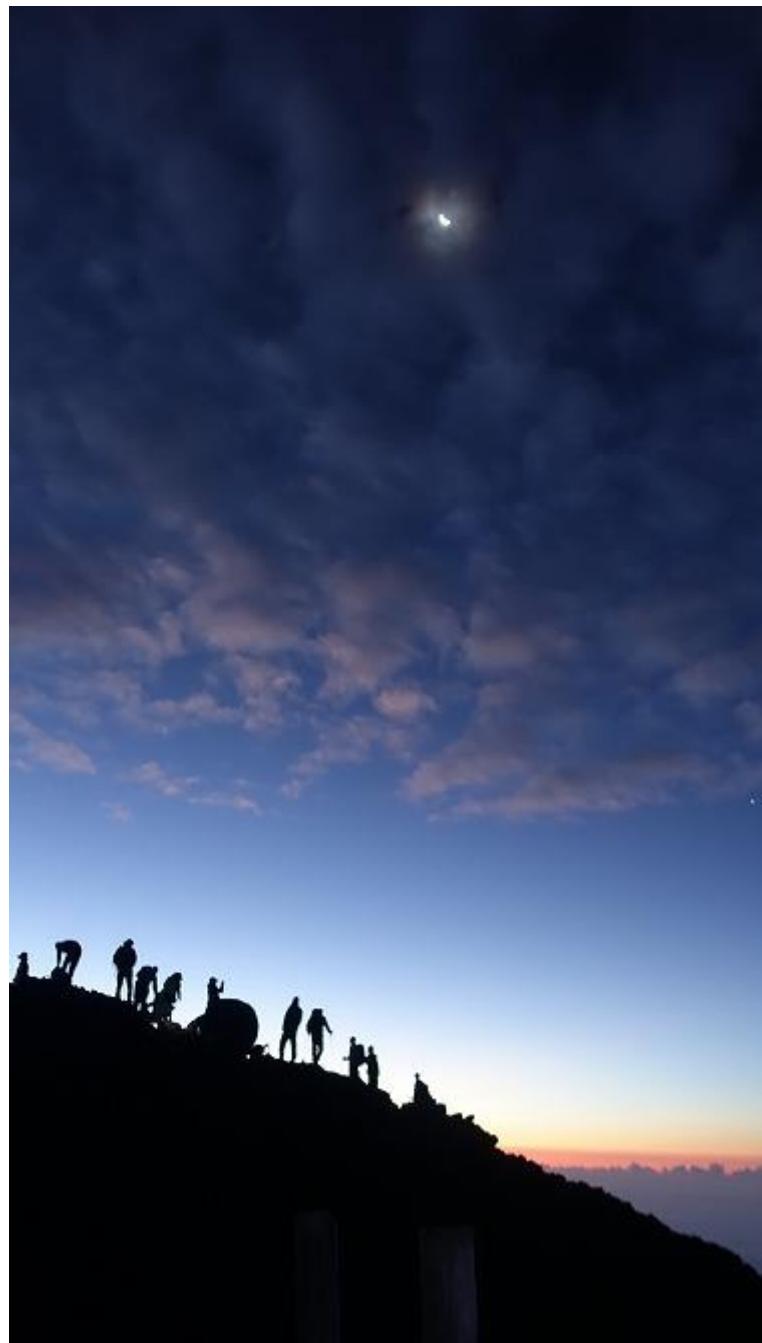


4:00・開口一番、「お腹が空いた」とは、頼もしい

朝ご飯は、「はごろもフーズのサバ味噌」だ。意外といけるようだ、あっさり目の味付けだった



4:38・朝が生まれようとしていた。駒ヶ岳の稜線が影絵の世界になった



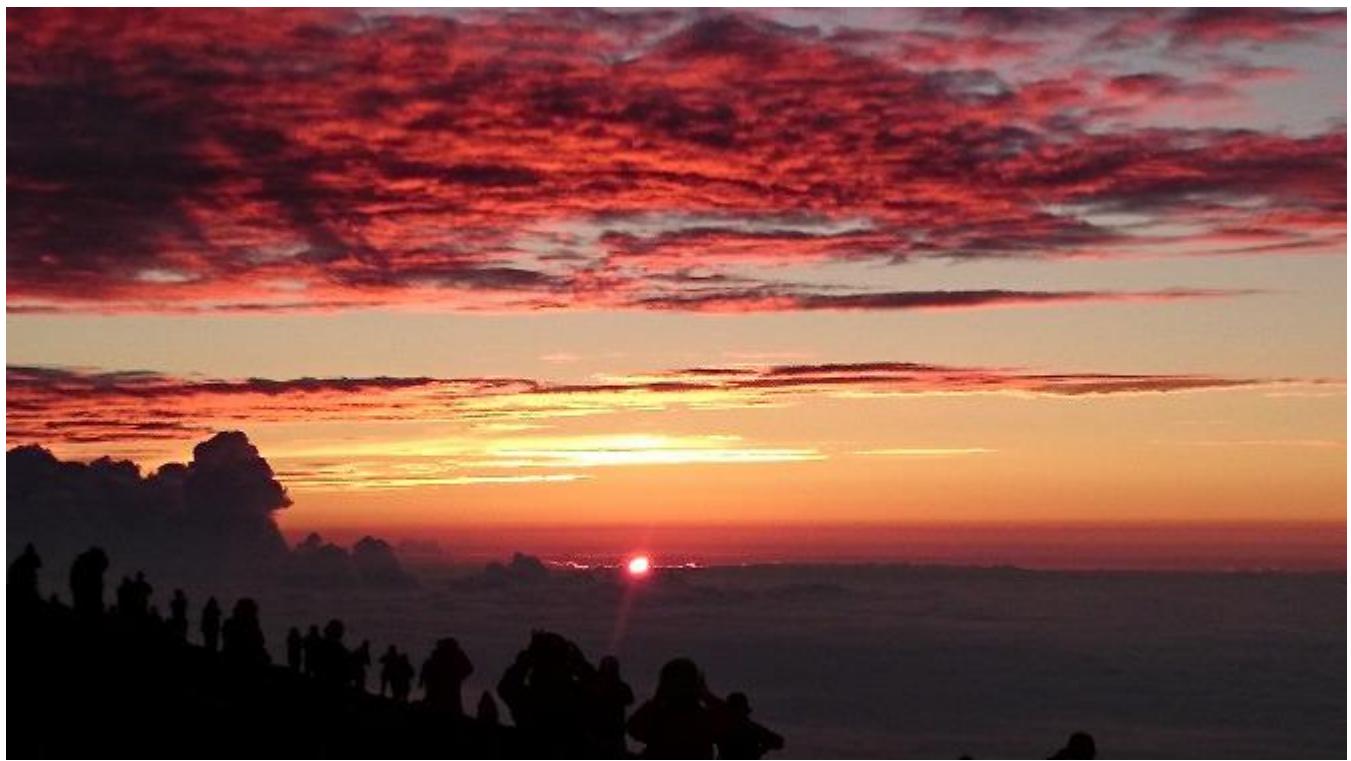
天空には「月」 「星」は無い



「剣ヶ峰」にも人の波が



「ご来光」を待つみなさん



5：07・「ご来光」 輝きが一面に充ちていく



記念撮影・モルゲンロートがすべてを染めて行く



いつの間にか、「人・ひと・陽と」だ。 富士山は、なんとも「不思議なところ」だと感じる



「宝永火口～新五合目」へ

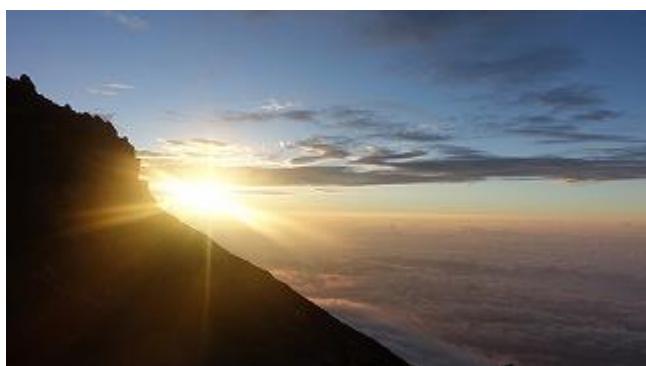
大砂走は「一步を3mあまりで走る醍醐味」とあるが



5：14・下山前の記念撮影（合成です）



鞍部を抜けると、宝永山が目視出来た。雲海が広がり始めている



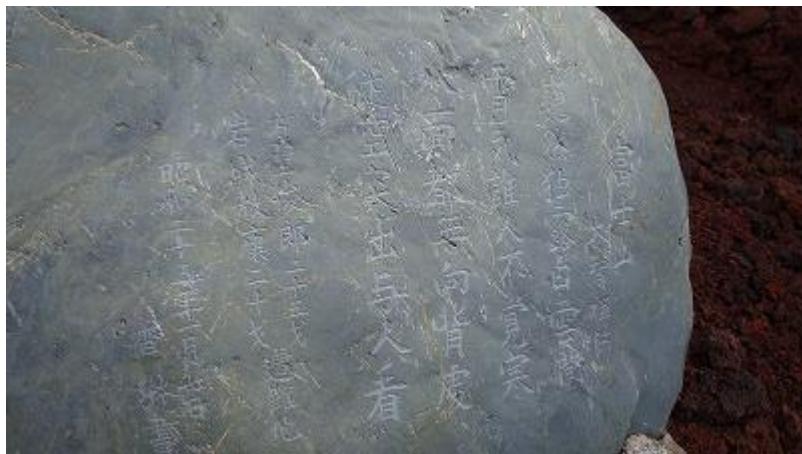
3700mの空気は澄んでいて、雲上の光が降り注ぐ



ブーケの如き「フジハタザオ」



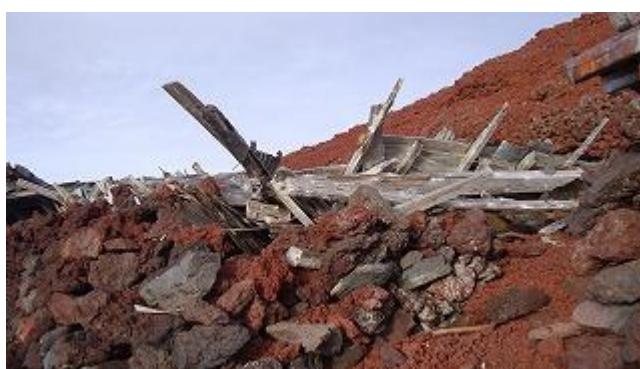
サラダに盛れそうな「フジイタドリ」



大智禪師の「富士山・七言絶句」の碑



長田尾根登山道建設記念碑



「八合目（3400m）」 いつ閉鎖されたのか、見晴館は朽ち果てつつあった



靴紐を締め直し、大砂走に備える



道標も静岡県側では違うのか。判り易い



赤岩八合館に到着
吉田口に比べれば小屋の数は圧倒的に少ない
なんとなく、落ち着いた眺めで
のんびりすると、居心地がいいかも



お天気が気になるような雲行きた、お昼まではなんとかお願いします！



「七合五勺 (3090m)」、620m程降りて来た



面白いゲートがあるので、ここで一枚（通路につき合成です）



ブルドーザー道と交差するところで遭遇、撮ろうとしたらドライバーに顔を背けられた（ごめんなさい）



「わらじ館」は面白そうだ、色々な「メニュー」がある。時間があれば寄ってみたい感じだった



7:15 「下り六合」に着いた。ここを右手に進めば「宝永山」、更に進めば「富士宮口」に至る。この道は、「皇太子」が富士に登った時に通ったとかで、人気のバリエーションルートらしい



前方の「宝永山」へ向かい、馬の背の分岐に出た。帰りはここから左へ降るのでザックをデポする



「宝永山」に進む、行程 10 分程。（後から撮り、前に回って進行方向から写すのでダッシュする）



「宝永山の火口」だ。山頂から撮ろうと思っていたら、あっという間にガスで見えなくなった



「宝永山山頂で」・「合成した富士をバックに」(暫く待っても山頂はちらっとしか見えなかった)



7:50・さあ、いよいよ「大砂走」である。「マスク準備」・「一步で3m・やるぞ～！」



「突入だ～！」・・・実は、「転ばない様にゆっくり～！」だった。骨折でもしたら大変だ



ガスが掛かり始めたが、順調だ。先日の台風で湿り気があり砂塵も少ない



なんだあ～「濃いガスの中から何か？現れた」 熊本さんが「ギョッ！」とされている



8:32 「次郎坊・2000m」。気が付けば、この辺りは「フジアザミの大群生エリア」だった



「富士山には月見草がよく似合う」と、言うけれど。富士に来てからお目にかかるついてないなあ～



後方で、「大瀧さん・ひざ痛の声」
初の1500m越え
3日間のロングトレイル
9月から「自主トレ・よろしく！」



大砂走には、「ガイドロープ」がある。 霧・ガスの発生が多いのだろう



9:26・「大石茶屋」。「2190m」を下りきった。小雨模様・新五合目のバス停まではあと少しだ



富士急のバス停。10:15の御殿場行に乗車

「クサボタン」



10:59・御殿場駅前。くもり



乙女口で温泉の送迎バスを待つ



12:35・レストランで乾杯・締めの一枚

＜富士八景の湯では＞

11:30・乙女峠近くの「富士八景の湯」到着・50分のお風呂タイム

12:20・レストラン集合（飲み会は隨時開始OK）・乾杯の後・食事など

13:55・送迎バスで、御殿場駅へ

14:16・御殿場線で帰宅（国府津・松田などで乗り換え）

＜あらまし＞

*御殿場駅前の「観光案内所」

「親切な妙齢のお嬢さん」が、送迎バスを問い合わせてくれて、OKの返事

ひょんなことから、帰りも送迎バスで

タクシー代が、飲み＆食事代になり、ラッキーな結末に「観光案内所」に感謝！



本日のランチ：全員が同じ「みくりや蕎麦」。結構おいしくいただきました

帰りの電車の中で・・・



クマさん会 20 周年記念「一合目から登る富士山」、これにて終了です。

二泊三日、大きなトラブルもなく、お開きとなりました。

「楽しめましたか・・・」